

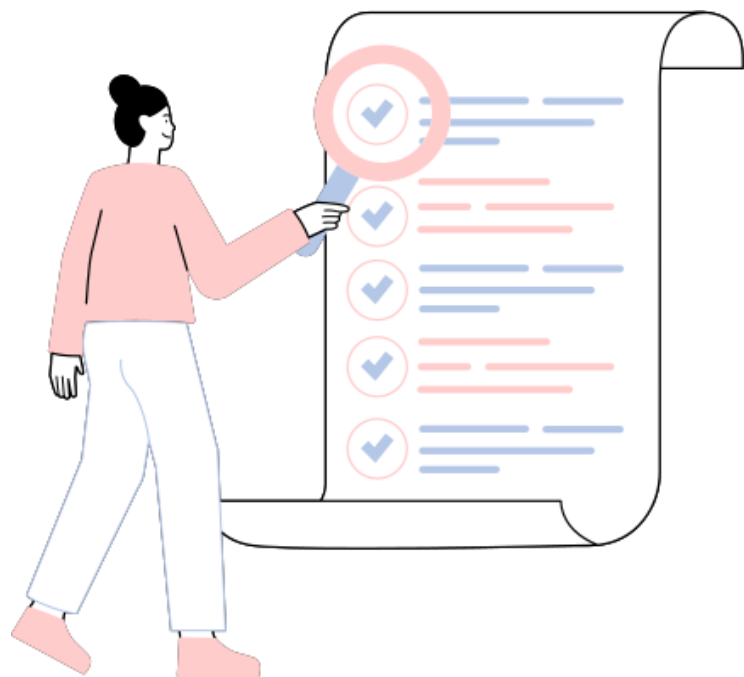
【概要版】

# 令和6年度 市民意向調査結果

- 中学生版
- 高校生相当年齢版



令和7年2月 小千谷市



## 目次

- 1 調査実施概要
- 2 調査結果(集計)
  - (1)回答者の属性
  - (2)暮らしやすさなど
  - (3)まちづくりに関すること

# 1 調査実施概要

## (1)調査の目的

平成28年度を初年度とする第五次小千谷市総合計画が、令和7年度で計画期間が終了することから、次期小千谷市総合計画策定の基礎資料とするため実施したもの。  
小千谷市のまちづくりや暮らしやすさ等に対する評価を把握した。

## (2)調査対象

### ■ 中学生

調査依頼時点で市内中学校に在籍する全生徒

(参考)令和6年5月1日時点での市内中学生数:837人

### ■ 高校生相当年齢

令和6年6月28日時点で市内に住所を有する16歳から18歳までの全員(903人)

### (3)実施方法

#### ■ 中学生

各中学校経由で生徒へ調査への協力依頼

回答については、インターネット回答のみ

#### ■ 高校生相当年齢

調査票を郵送により対象者へ配付

回答については、郵送回答とインターネット回答を併用

(4)実施期間 令和6年8月26日(月)から9月19日(木)まで

### (5)有効回答数

対象	回答数(人)			回収率(%)
	郵送	インターネット	計	
中学生	-	641	641	76.6
高校生相当年齢	64	185	249	27.6

## (6)調査項目

SA…単一回答、MA…複数回答

1 回答者の属性		
問1	あなたの性別を教えてください。	SA
問2	あなたの年齢を教えてください。	記述
問3	現在、あなたはどちらの地区にお住まいですか。	SA
問4※	現在、あなたが通っている学校の場所・働いている場所を教えてください。	SA
問5	あなたは通算で小千谷市に何年住んでいますか。	SA

※問4は高校生相当年齢版のみの設問

2 暮らしやすさなど		
問6	あなたにとって、小千谷市は住みやすいところだと思いますか。	SA
問7	あなたは進学などで小千谷市を離れることがあっても、小千谷市に戻って暮らしたいと思いますか。	SA
問7付	どこで暮らしたいと思いますか。	SA

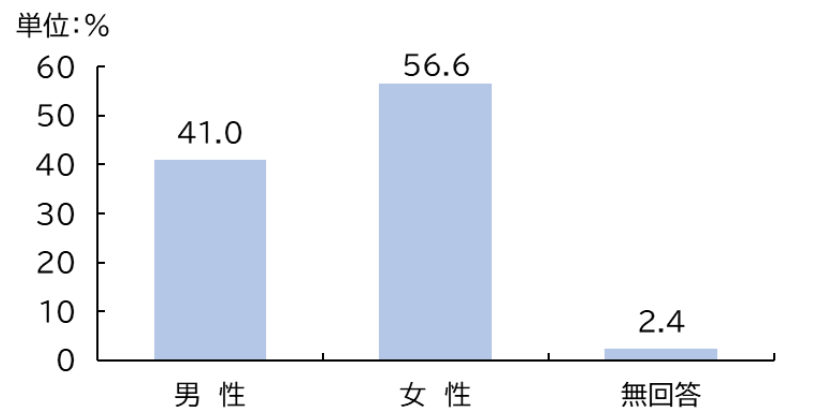
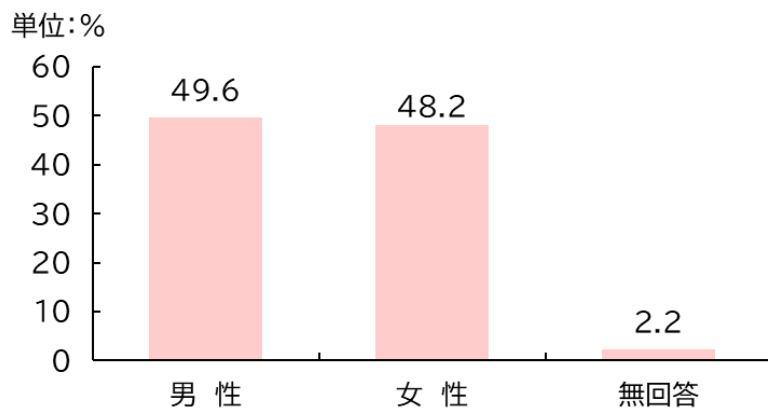
SA…単一回答、MA…複数回答

2 暮らしやすさなど		
問8	将来も小千谷市で暮らしたいと思う主な理由は何ですか。	MA
問9	別の場所で暮らしたいと思う主な理由は何ですか。	MA
問10	どのようなことが充実していると、将来も小千谷市で暮らしたいと思えますか。	SA
問11	あなたは、小千谷市に関わる情報をどこから知ることがありますか。	SA
問12	あなたは将来、どんな仕事をしたいですか。	MA

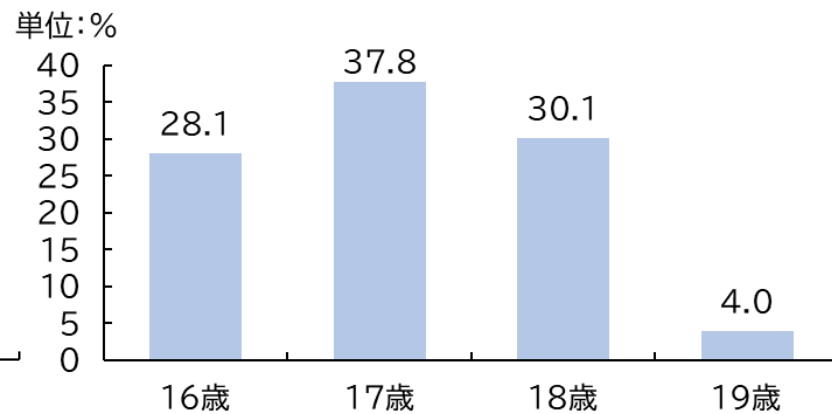
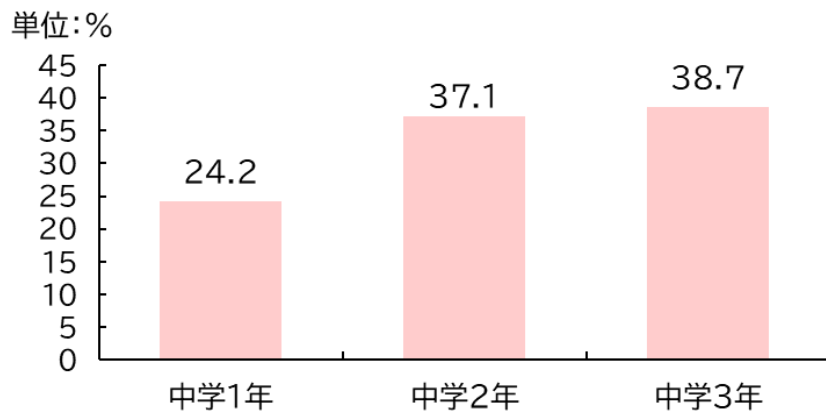
3 まちづくりに関すること		
問13	あなたは将来の小千谷市がどんなまちになってほしいですか。	MA
問14	これからの将来を担う若い人たちのためのまちづくりについて、特に必要だと思うことは何ですか。	SA
問15	小千谷市に住んでいて、自慢できるものは何だと思えますか。	MA
問16	あなたが小千谷市に暮らして感じていることを自由に書いてください。	記述

## 2 調査結果 (1)回答者の属性

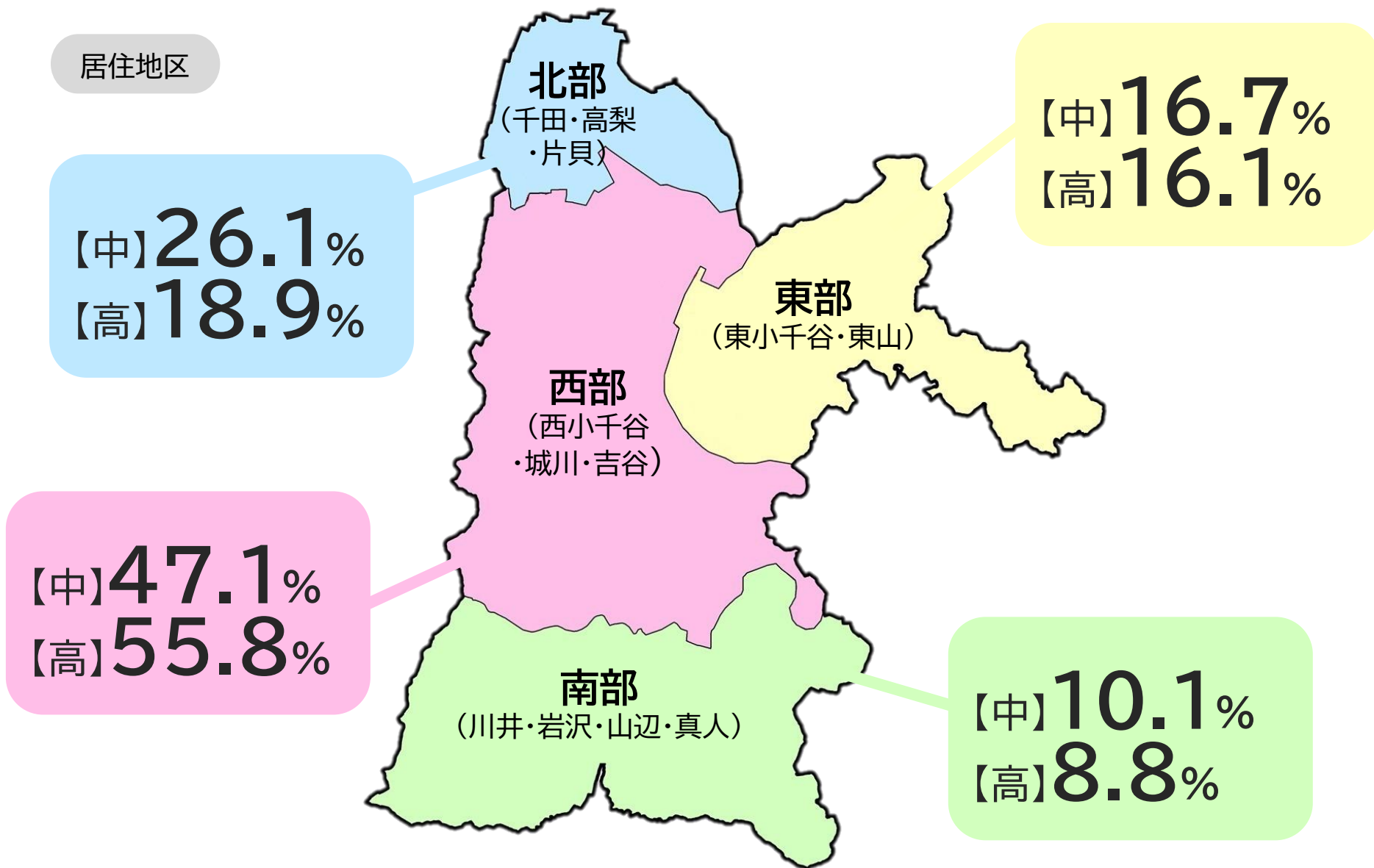
### 性別



### 学年／年齢



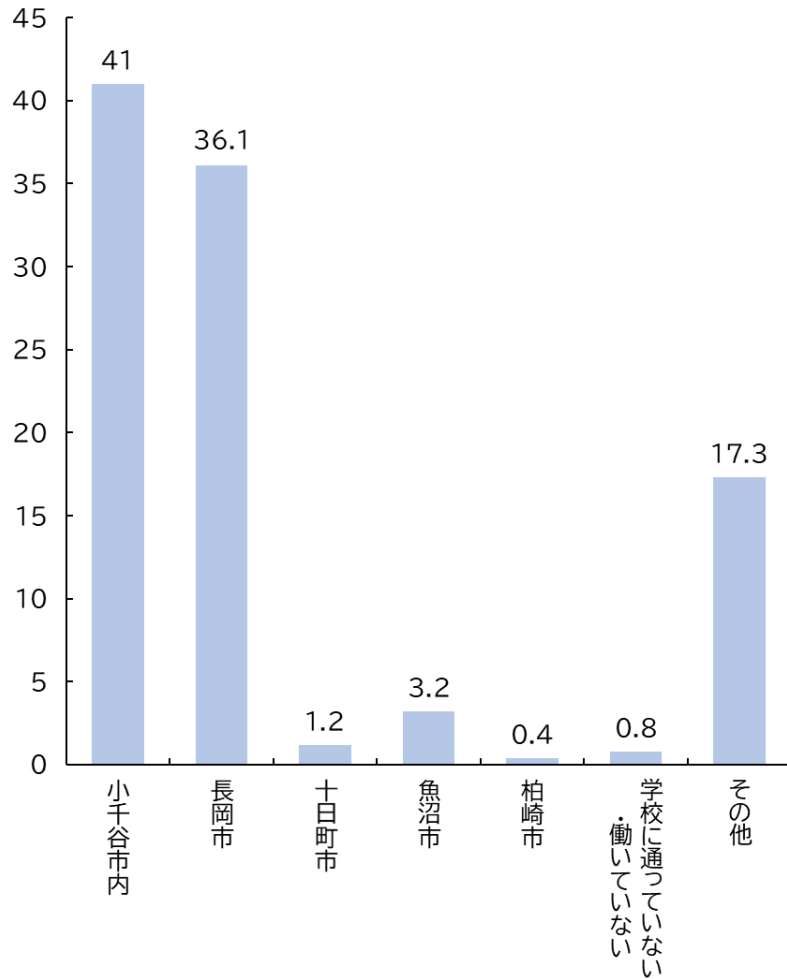
居住地区





## 通学地・通勤地

単位:%

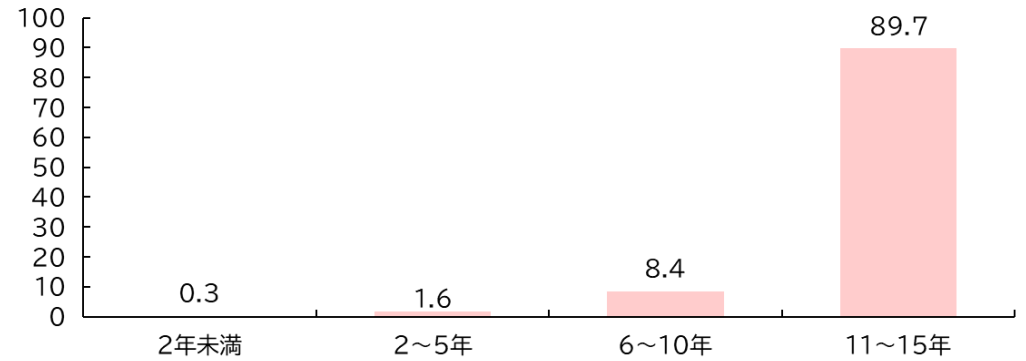


## 居住年数

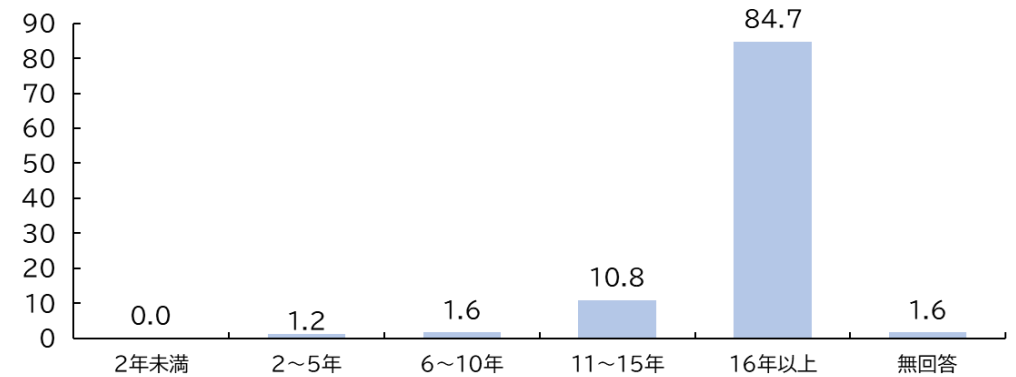
■:中学生版

■:高校生相当年齢版

単位:%



単位:%

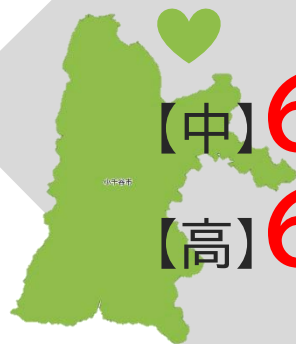


## (2)暮らしやすさなど

【中】:中学生版  
【高】:高校生相当年齢版

### POINT1

住みやすいと感じる人は



【中】67.7%

【高】63.9%

・住みにくいと感じる人は、  
【中】8.7% 【高】16.0%

・特に西部、北部が住みやすいと感じる人が多く、南部が住みにくいと感じる人が多い

### POINT2

将来も小千谷市で暮らしたいと思っている人は



【中】18.9%

【高】21.7%

・中学生、高校生相当年齢ともに「まだわからない」と回答する割合が最も多く、約半数を占める

希望転居地域は  
新潟県外(首都圏)  
が最も多い

【中】38.4%

【高】40.8%

## POINT3

### 将来も小千谷市で暮らしたいと思う理由



1位

【中】小千谷市での生活に慣れているから

15.3%

【高】生まれ育ったところだから

18.2%



2位

【中】生まれ育ったところだから

14.0%

【高】小千谷市での生活に慣れているから

15.3%



3位

【中】親しい友人や知り合いがいるから

10.7%

【高】自然環境が豊かだから

12.0%

### 別の場所で暮らしたいと思う理由



1位

遊ぶ場所が少ないから

【中】18.4%

【高】16.8%



2位

【中】好きな施設や場所がないから

14.3%

【高】公共交通手段が不便だから

15.0%



3位

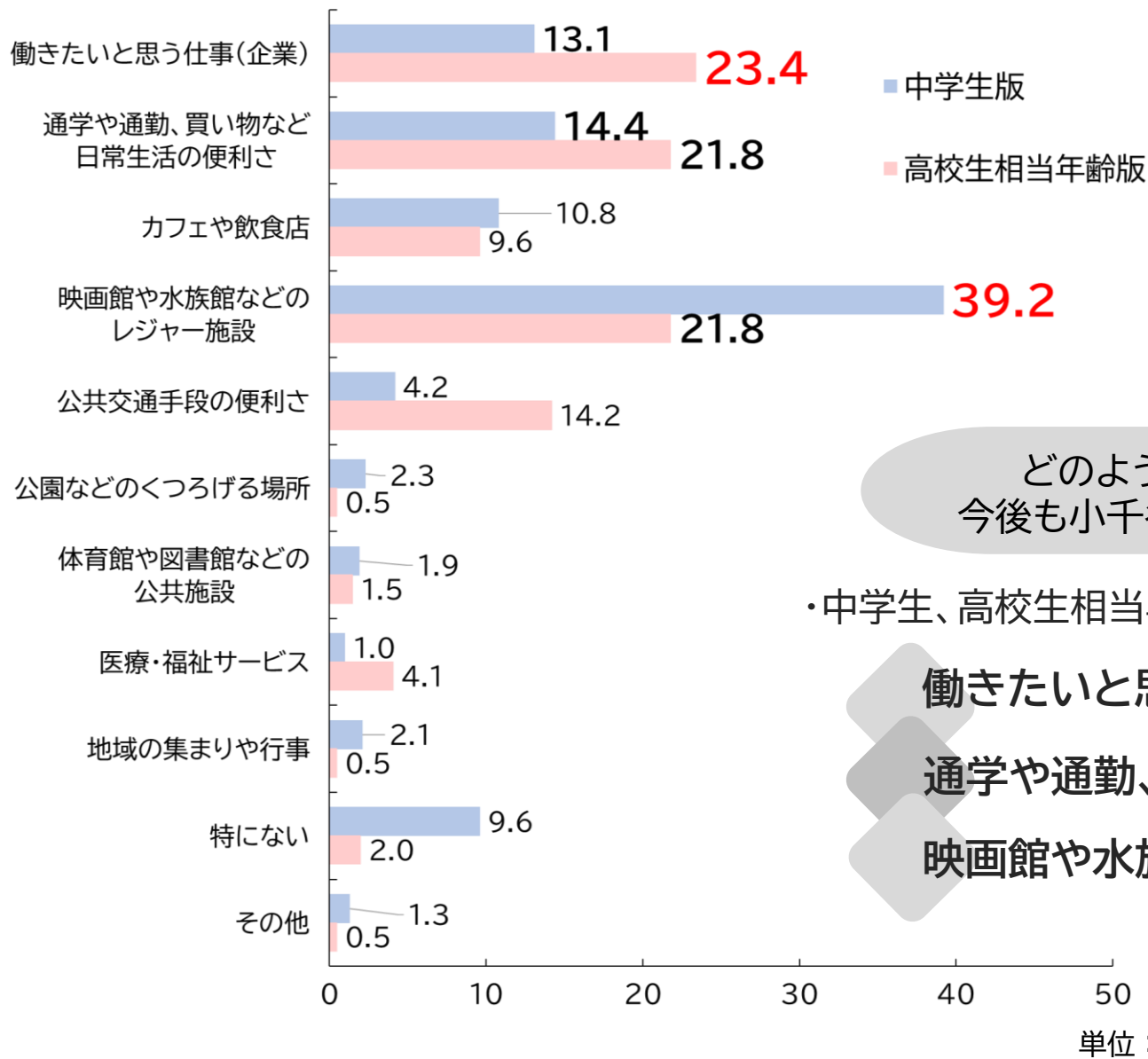
通学や通勤、買い物など日々の暮らしに不便だから

【中】13.4%

【高】14.5%

【中】:中学生版

【高】:高校生相当年齢版



## POINT4

どのようなことが充実すれば、  
今後も小千谷市で暮らしたいと思うか

・中学生、高校生相当年齢における上位3項目が一致

働きたいと思う仕事(企業)

通学や通勤、買い物など日常生活の便利さ

映画館や水族館などのレジャー施設

## POINT5

市の情報を得る方法は

1位 家族



【中】31.5%

【高】42.6%

2位 SNS

【中】25.7% 【高】27.3%

3位

【中】学校の友人や先生 14.0%

【高】市からの行政情報 7.2%

## POINT6

将来希望する仕事は

1位 決まっていない、  
分からない



【中】15.4%

【高】13.1%

2位 会社員

【中】6.9% 【高】10.1%

3位 公務員

【中】5.4% 【高】8.8%

【中】:中学生版

【高】:高校生相当年齢版

・中学生では、動画配信者やゲームクリエイターなど、クリエイター系の職業を希望する人が比較的多い

・高校生相当年齢では、教員や看護師、保育士といった資格・免許を有する職業が選ばれる傾向にある

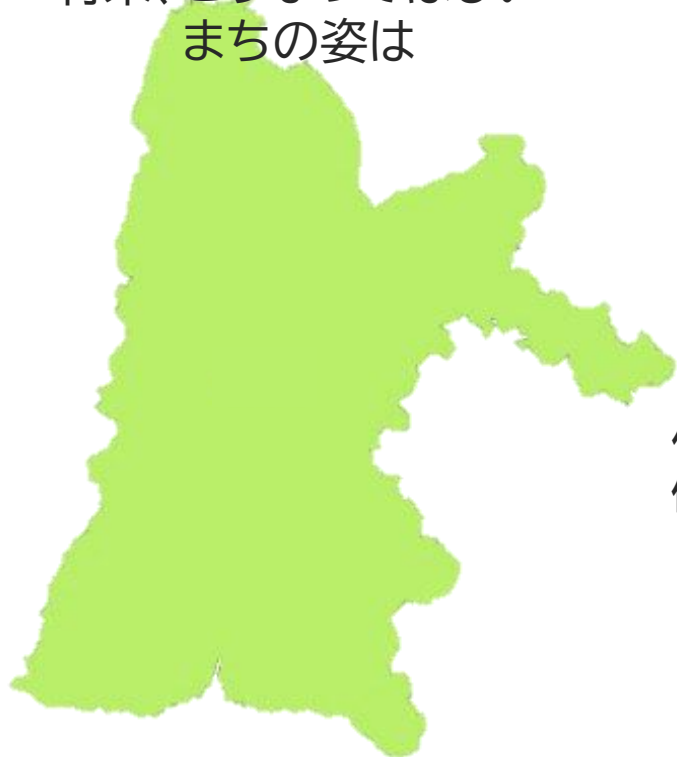


### (3)まちづくりに関すること

【中】:中学生版  
【高】:高校生相当年齢版

#### POINT7

将来、こうなってほしい  
まちの姿は



1位

買い物やすく、  
まちのにぎわいがあるまち

【中】19.9%

【高】20.5%



2位

住宅・公園・道路などが整備され、  
便利で快適に暮らせるまち

【中】16.7%

【高】19.0%



3位

子どもからお年寄りまで  
みんなが健康に暮らせるまち

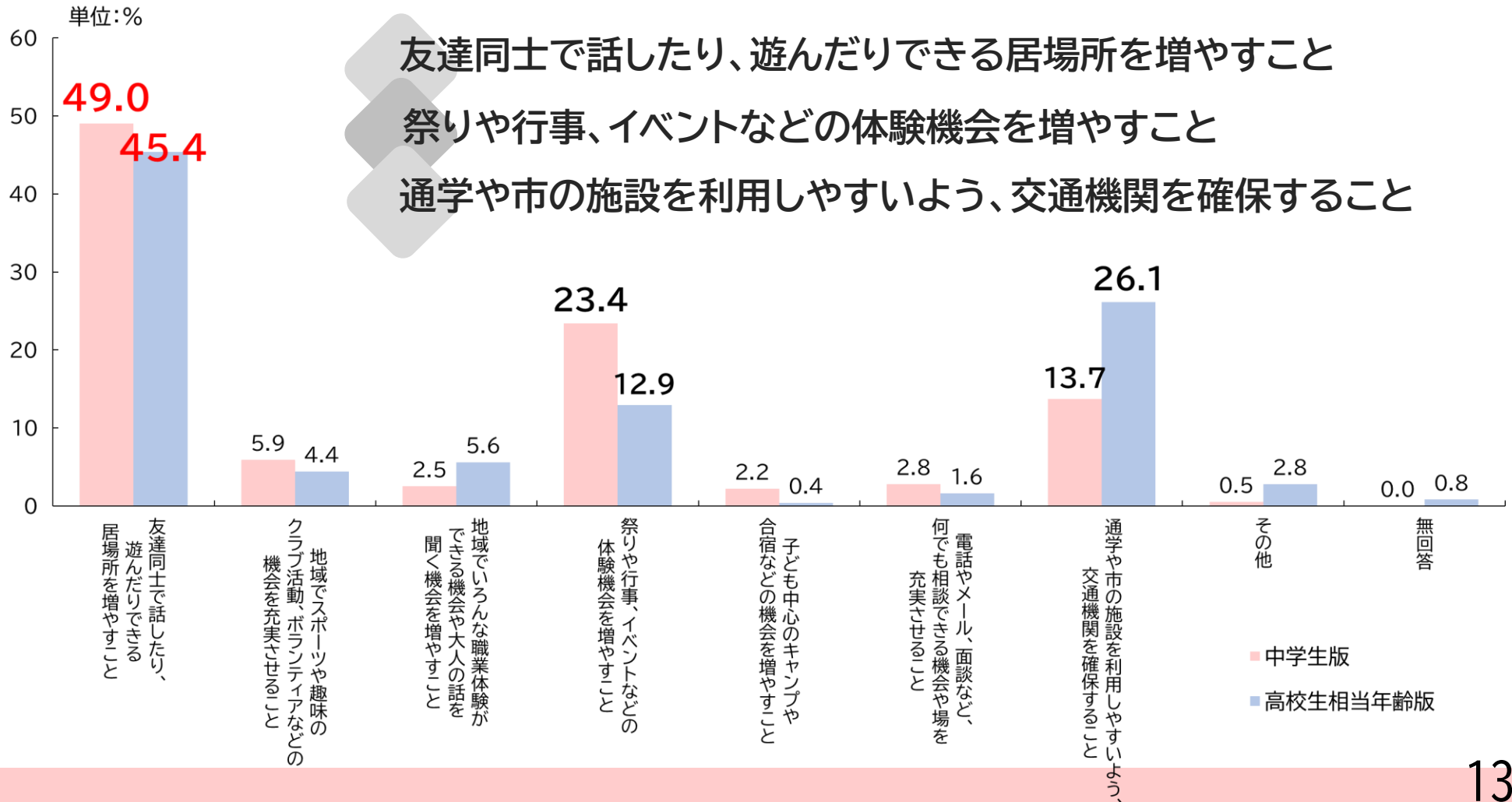
【中】14.7%

【高】13.4%

## POINT8

### 将来を担う若い人たちのまちづくりに必要なこと

- ・中学生、高校生相当年齢における上位3項目が一致



## POINT9

小千谷市の自慢できるものは

【中】:中学生版

【高】:高校生相当年齢版



1

・へぎそばや魚沼産コシヒカリなどの農産物も比較的高い割合を示した

2

【中】錦鯉

22.1%

【中】片貝まつり

19.2%

【高】錦鯉、  
おぢやまつり

17.0%

【高】片貝まつり

19.7%



3

【中】おぢやまつり

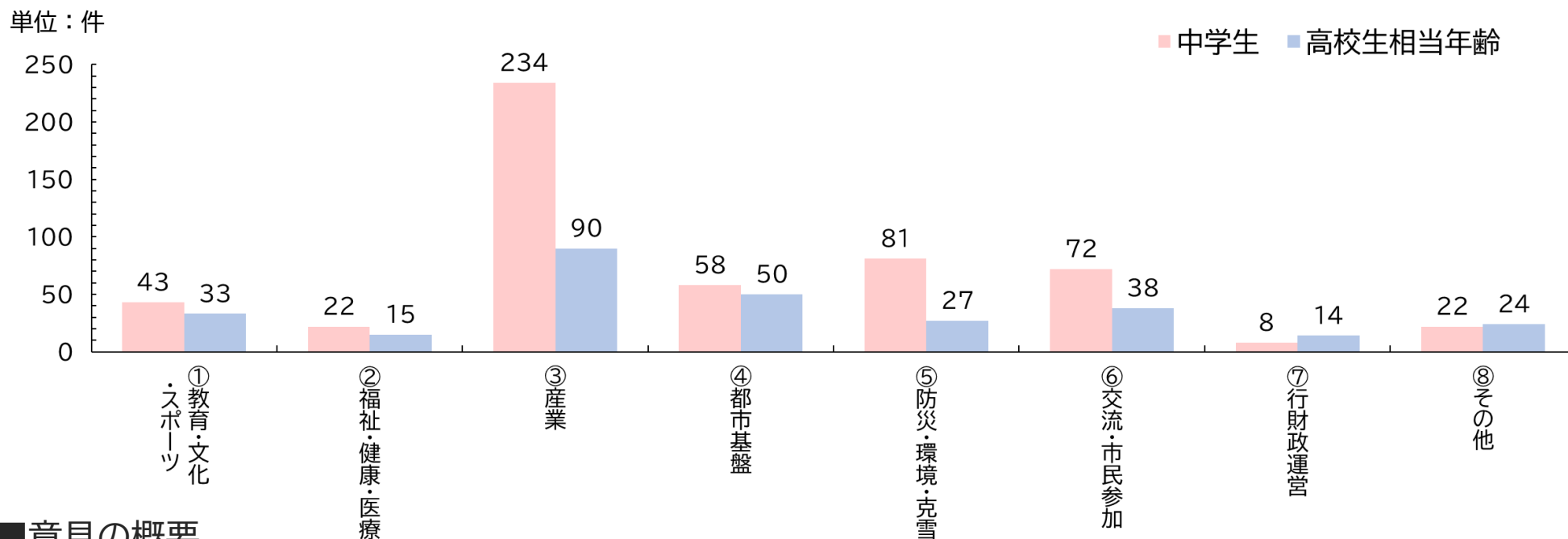
15.2%



## POINT10

### 市の暮らしについての自由意見

・自由意見を現行の総合計画の7分野に読み分けると、「③産業」についての意見が多くなっている。



自然豊かな環境が評価される一方で、若者向けの遊び場や集まれる場所の不足を指摘する意見が多い。特に、カフェ、カラオケ、映画館、ショッピングモールなどの娯楽施設や飲食店の充実が求められる。また、公共交通機関の便を改善し、通学や移動の利便性を高めてほしいという意見も多く、特に電車の本数の少なさが問題視されている。



市民同士の仲が良くて、みんなで助け合っている良いまちだと思います。

これからも市民同士、仲良く助け合えるまちでいてほしいです。

(中学1年生 女性)



そなえ館などの防災施設が整っているし、レジャー施設や店は最近少なくなってきたけれど、事件や事故がないまちづくりがしっかりできていると感じることがあります。

(中学2年生 男性)



自然が豊かなので、その緑色の景色は将来も残ってほしい。

治安がよく、平和なのでそれも残ってほしい。

(中学3年生 男性)

## みなさんの声



様々な魅力があるので、これからも自分たちの地元として、愛着を持ち続けることが出来るまちであってほしい。

(19歳 男性)



小千谷祭りにお囃子団体として参加しています。地域との結びつきを強く感じることができ、地域の伝統を引き継ぐ活動に関われていることを誇りに思います。

来年からは進学の関係で小千谷を離れますが、小千谷祭りがあるから将来的にはまた小千谷に戻ってきたいと強く思います。

新しいことをどんどん取り入れることはもちろん若者としては嬉しいことばかりです。でも、小千谷が大好きだからこそ、小千谷ならではの昔から伝わるものが色褪せてしまわないようにしてほしいなと思います。

(17歳 女性)